

水土里レポート 投稿様式

投稿月日 令和元年11月13日

タイトル 学校のみんなで稲刈りをしたよ！2019

水土里レポーター名 水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年10月7日（月）福山市立金江小学校全児童109名が、金江小学校のすぐ近くの田植えをした田んぼで稲刈りをしました。

水土里ネット福山の組合員 小川正光さんが管理するほ場300㎡で6月に全校児童で田植えをし、5年生は小川さんに指導していただき、粃を塩水選で分け粃蒔きから育苗をし、田植えの後も肥料や除草など栽培方法を学習してきました。

5年生が、すぐ近くの小学校から歩いてほ場まで子ども達がやってきました。5年生は6月の田植えの時に塩水選で浮いた粃から育苗し通常の苗と分けて植えていた稲を刈るために一番に田んぼに来ました。通常の稲と交わらないように稲刈りをし束にしました。

通常の稲は2年生から稲刈りです。昨年は1年生で6年生と一緒に稲刈りをしましたが、今年からは2年生だけで稲を刈ります。小川さんに稲や鎌の持ち方を教えてもらい田んぼへ入りました。最初はぎこちない手つきでしたが「鎌は手前にひくように刈るんじゃ。」と地域の方や保護者に教えてもらい、どんどん上達しました。

1年生は6年生と一緒に初めての稲刈りです。6年生は稲刈り上級者なので、1年生にやさしくワンツーマンで教え、最初はぎこちなかった1年生もすぐ上手に刈れるようになりました。



3年生、4年生も手慣れた様子で稲刈りをしました。5年生が学校からはぜ掛けの足と竿を運び、みんなが刈った稲を黙々と束にしてはぜ掛けしました。

5年生の提案で、塩水選で浮いた粃と沈んだ粃を分けて育苗し成長に違いがでるか記録をするため、刈った稲の中からそれぞれ30本ずつ稲をサンプルとして取りました。

刈る前は違いがないように見えたが、30本ずつを束にしたものを見ると明らかに浮いた粃から育てた稲

の方が細かいことが分かりました。これから5年生が米粒の数を確認するなどして分析するそうです。

ここ数年、稲刈りの時に田んぼがぬかるんでいて、去年は保護者の方が排水対策のため田んぼの周りに水吐の水路をスコップで作って排水しておられましたが、今年はひび割れができるほど乾燥していました。

稲刈りが終わると学校の校庭へ地域の方や保護者が集まり、5年生から蒔きから稲刈りまでお世話になったお礼を言いました。

小川さんからは、みんなが上手に稲刈りできたことを褒められ、塩水選で分けた稲の観察を楽しみにしておられること、保護者が田植えや稲刈りなどに参加されたことにお礼を話されました。

後日、農業体験や学校生活でお世話になっている地域の方を招いて感謝祭を開催し、収穫した米が振舞われるそうです。ぜひ参加したいと思います。